

6月9日 使徒言行録2章1～24節

【解説と黙想】

聖霊が注がれる

今日、教会が復活の主イエスの証人として全世界に対して福音宣教を行っているのは、聖霊が教会に降られて、世界宣教のために力を与え、教会を主イエスの復活の証人としてお立てになられたからです。

「五旬祭」は刈り入れの祭り、七週の祭りとも言われ、小麦の収穫感謝祭でした。イスラエルの三大祭りの一つです。過越しの祭りの二日目から七週後、即ち五十日目に行われました。今日私たちは聖霊降臨日を「ペンテコステ」と呼びますが、これはギリシア語で「五十番目の」という意味です。聖霊降臨は、主イエスの復活からちょうど五十日目のことでした。

イエスは昇天前に使徒たちに対して、聖霊を与える約束をしておられ、それを信じて待ち望んでいた一同に聖霊が降られました。聖霊はこれまでも多くの御業をなさっていましたが、イエスの昇天後、誰の目にも明らかな仕方で教会に降られました。激しい風が吹いてくるような音、炎のような舌、そして一同が聖霊に満たされて諸国の言葉で話し出したことは、復活された主イエスの福音の全世界への宣教を始めるために、聖霊が教会に降られたことの確かなしるしでした（2～4節）。

人々は驚き、怪しみ、戸惑い、嘲る者さえもいましたが、神の偉大な業が語られて

いることを理解する者たちも確かにいたのです（11節）。

使徒ペトロは、ヨエル書3：1～5の言葉を引用して、この出来事は神が予め預言者を通して示しておられたことが実現したのだ、と説き明かします（14～21節）。

「終わりの時」とは、世の終りというある時点のことではなく、主キリストによって新しい契約による救いが与えられる時代全体のことを示しています。

「すべての人」とは全人類のことではなく、あらゆる人々のことです。旧約時代には、神の霊は、おもに預言者や王など、ある特定の人々に注がれました。そうではなく、キリストの到来により、「息子と娘」、「若者」、「老人」、「僕やはしたため」、あらゆる人々が主の御言葉を悟り、神の言葉を語ることが出来るように、神の霊＝聖霊が注がれるのです。主イエスが弟子たちに語られたことが実現する時が到来しました（ルカ24：47～49、ヨハネ14：26、16：13）。

それは、神が予め「お定めになった計画」（23節）に基づいて実現したイエスの十字架の死と復活によって、多くの人々を救うためでした。聖霊の恵みによって主イエスの弟子たちは、主の復活の証人として宣教へと力強く押し出されたのです。

（久保田証一）

《参照箇所》 使徒言行録1章6～8節、ヨエル書3章1～5節

《教理問答》 「子どもと親のカテキズム」問42

6月9日 使徒言行録2章1～24節

【説教展開例】

聖霊が注がれる

◇..... 単元のねらい◇

今日、私たちが教会に集って主イエスの救いの福音を聞き、御言葉に教えられて日々歩んでいる。それは、聖霊が教会に降られて教会によって世界宣教を始めてくださったからである。私たちもその聖霊の恵みと力によって導かれていることを知る。そして更に主を信じて救われ、礼拝する民が起こされてゆくことを祈り求める者となれるように。

「聖霊の恵みと導きを信じる」

【教会の誕生日を祝う】

今日は、教会のカレンダーでは「ペンテコステ」というとても大事な記念の日です。「聖霊降臨日」とも言います。神さまの聖霊がイエスさまを信じる人たちに降られて、教会がこの世界に誕生したのです。クリスマスはイエスさまの誕生を祝い、イースターはイエスさまの復活を祝いますね。ペンテコステは、教会の誕生を祝う日なのです。

皆さんが、自分の大事な人たちの誕生日をお祝いするように、教会がこの世界に生み出されて歩み始めたことをお祝いする大事な記念の日がペンテコステです。

この日がどうしてそれほど大事なのかというと、この時、神さまの聖霊が降られて教会が誕生して、福音を世界中に広め始めたから、私たちのところまでイエスさまの福音が伝えられてきたからです。そして、私たちが聖書の御言葉を学べるのも、イエスさまを信じることができるのも、聖霊の恵みがあるからです。

【ペンテコステに起こったこと】

イエスさまは、私たちが罪から救うために十字架にかかって死なれましたけれど

も、三日目に復活されました。そして、やがて弟子たちに聖霊が降られて力を与えてくださり、世界中にイエスさまの救いの福音を伝えるように遣わしてくださることを約束されました。そのことを信じて弟子たちは集まって祈っていました。

そんな中、イエスさまが復活されてから、ちょうど五十日目のことです。実は「ペンテコステ」とは「五十番目の」という意味です。イエスさまを信じる人たちも集まっていましたが、いきなりものすごい風が吹いてくるような音が天から聞こえ、炎のような舌が一人一人の上に留まり、そこにいた人々は、聖霊に満たされて他の国の言葉で話し出したのです。

この日は、ユダヤの人たちの大事なお祭りがあって、いろんな地方から大勢の人がエルサレムに集まっていました。こんな不思議なことが起こったので、エルサレムにいた人たちはみなとても驚いて、一体何が起こったのだろうか、と思いました。中には、この人たちはお酒を飲んで酔っているのではないかと言う人たちもいました。けれども、神さまの大きなお働きについて話しているのだということが分かった人たち

もいました。神さまのなさる素晴らしいお働きのことを理解する人たちがいたのです。

【ペトロの説教】

すると、使徒ペトロが話し始めました。ペトロは、いろんな国の言葉で話しているこの人たちは決してお酒を飲んで酔っているのではなくて、旧約聖書のヨエル書に書いてあることが実現したのだ、と言いました。ヨエル書は、この時代よりも何百年も前に書かれましたけれども、予めこの出来事が起こることを知らせていました。

イエスさまが来られて、私たちに救いを与えてくださる時が来たなら、男も女も、若い人も年取った人も、僕や召使いの人たちも、いろいろな人たちが神さまの御言葉を語るようになる、ということが言われていたのです。それまでは、特別に選ばれた預言者とか、王様とか、そういう人たちだけが神さまの御言葉を語っていましたが、これからはイエスさまを信じる人は誰でも神さまの御言葉を語れるのです。それは聖霊が教会に降られたからです。

イエスさまも前に弟子たちに約束しておられました。聖霊が降られたなら、イエスさまがお話しになっていたことや、聖書の御言葉の意味が良く分かるようになる。そして、世界中の人々にイエスさまの十字架と復活のことを伝えて、教えてあげることができるようになる、と。

イエスさまのお生まれになるずっと前か

ら神さまはそのことを予め告げておられましたし、イエスさまもそれを約束しておられました。そして、イエスさまを信じてその御名を呼び求めて祈り、救いを求める人は、誰でも救われるのです。

ペトロはこうして、人々が知っているイエスさまのことを改めて人々に教えました。イエスさまは十字架につけられて殺されましたが、三日目に復活されました。これは神さまが予めお定めになったご計画によっていたことでした。私たちもいろいろな計画を立てますね。でも、実行できないことが良くあります。けれども神さまは、必ず計画を実現できます。だから、イエスさまが生まれる何百年も前に、預言者たちによって、前もってお語りになっていました。ヨエルもその一人として預言したのです。

【私たちも聖霊の恵みにより頼む】

こんなに素晴らしい神さまの救いのご計画が私たちによくわかるのは、神さまの聖霊が私たちの心に働きかけてくださって、神さまの御言葉がわかるように助け、導いてくださるからです。

そして、イエスさまを信じた人が、他の人にもイエスさまのことを教えてあげられるように力をくださるのです。私たちも、教会でよく御言葉を学び、聖霊のお力に頼ってイエスさまの素晴らしい救いを他の人に教えてあげられるように祈りましょう。

(久保田証一)

《今週の暗唱聖句》

あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。

(使徒言行録1章8節)

6月9日 使徒言行録2章1～24節

【幼稚科】

聖霊が注がれる

〈展開例〉

イエスさまはたくさんの人たちに神さまのお話をしていましたね。でも、イエスさまが天のお父さまのところへ行かれたので、今度はお弟子さんたちが神さまのお話をする番です。イエスさまが約束通り聖霊を送ってくださったので、お弟子さんたちは勇気がわいてきて、喜びいっぱいイエスさまのお話をすることができました。お弟子さんたちのお話を聞いて、イエスさま

を信じる人はどんどん増えていきました。これが教会の始まりです。今では、世界中にたくさん教会があります。今日は教会の誕生をお祝いする日です。

〈お祈り〉

神さま、今日も教会に来ることができてありがとうございます。お友達がたくさん教会に来ますように。

〈工作〉「教会ポップアップカード」

材料：画用紙（好きな色）

・内側用12cm × 18cm ・外側用13cm × 19cm

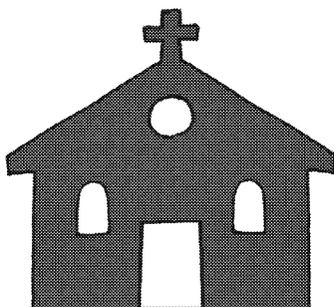
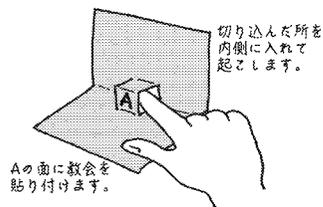
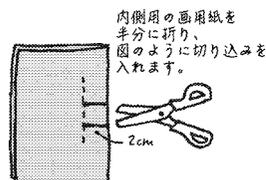
・教会用（大きさは見本に合わせて）

両面テープ（or のり）

サインペンや色鉛筆

封筒（必要に応じて）

★お友達にカードを送ってみよう。



色紙やシールなどで
教会にドアや窓をつけたり、
メッセージ欄などを
つけてみましょう。

6月9日 使徒言行録2章1～24節

【小学科上級・中学科】

聖霊が注がれる

1. 使徒言行録2：1～4を読みましょう。

①五旬祭の日にどんなことが起こりましたか。

②その時、誰が何をしていましたか。

2. 使徒言行録2：5～13を読みましょう。

③あらゆる国から帰って来た信心深いユダヤ人は、このことについてどんな反応をしましたか。

3. 使徒言行録2：14～21を読みましょう。

④ペトロは何について話し始めましたか。また、誰を通して言われたことだと言っていますか。ヨエル書3：1～5も読んでみましょう。

⑤終わりの時とは、どんな時のことを言っているのでしょうか。

4. 使徒言行録2：22～24を読みましょう。

⑥ペトロは、神様のお定めになった計画によって人々にどんなことが起こると説明していますか。

⑦この事柄を通して、私たちに届けられた神様のご計画は何だと思えますか。